

ヤマテ・ノイエ



～敷地の恩恵を最大限引き出す～

初めてこの土地を訪れた時に、この家のテーマを決定した。敷地は、周囲に築10年以上の家が立ち並ぶ閑静な住宅街の一角にある。南西角地で100坪以上という稀に見る恵まれた環境において、建物をどのように配置し、いかんとして建物に土地の恵みを取り入れるかが重要であった。施主の要望は「日当たりと風通しの良い家」である。敷地が南向きであるため、大抵のプランである程度の日照は確保できるが、あえて建物に凹凸をつけて、外壁面を増やし窓を設けた。そうすることで、単調な明るさではなく、季節に応じて様々な角度から光と風が入り、家の中に居ても四季を体感できる住まいになる。又、農学部出身の御夫婦の趣味が「庭で畑をすること」であったため、入居後、庭に沢山の野菜や果物を植える計画をしておられた。1年後、建物が緑に囲まれて周囲の環境と馴染んだ頃、本当の意味でこの敷地と調和のとれた建物が完成する。



建物DATA

所在地/ 加古川市
 主要用途/ 住宅
 家族構成/ 夫婦+子供三人

-構造-
 主体構造/ 木造在来工法
 基礎/ ベタ基礎

-規模-
 敷地面積 377.37㎡
 建築面積 121.48㎡
 延床面積 174.96㎡ (52.92坪)

-敷地条件-

第一種低層住居専用地域
 防火指定無し
 道路幅員 6.0m 4.0m

-外部仕上げ-
 壁/サイディング大壁工法
 一部タイル張り

屋根/モニエル瓦